

今週の3句！ ～『川柳展望』最新号から、毎週3句を紹介します。～

令和5年5月1日～7月30日 『川柳展望』193号より

多分もう書くことはないラブレター とはいえどやっぱり奥の品を取る 自分探しより捜してもらうのが近い	梶井良治 春日綾乃 勝部宏子
町内の役決める時死んだふり 忌憚ない意見で機嫌悪くなる 壊すものなくなる日までする戦	勝部宏子 佐道 正 篠原伸廣
焼酎の湯割りの湯気はいつも春 英会話マスターしたが通じない 罪犯さないと成れない犯罪者	新家完司 すずき善作 田鎖晴天
町内で三日かかって着く手紙 深夜便までのラジオがうるさ過ぎ ご焼香順番が来て起こされる	津田 暹 寺井 青 永井天晴
ふるさとの春の小川に会いに行く 怖いので今日の運勢夜に見る 彼女が出来て私の家に来ない孫	中筋弘充 難波智恵子 藤田悦子
赤ちゃんの象も泳いで渡る河 愛車より代車の方が良い車 悪知恵は出せば出すほど湧いてくる	吉崎柳歩 梶井良治 清水一笑
酢のものの仲間に入れない酢豚 まだ何もせぬうち昼が来てしまい ストレッチ兼ねて軟膏背に塗る	高瀬霜石 中島久光 毛利由美
ジェット機がゆっくり飛んで見える空 手袋は片方だけが落ちている 登壇の歩幅小さくして代理	西山竹里 鈴木新録 岡村水無月

「ようなもの」と言われすつきりせぬパール  
ルンバって床しか掃除してくれぬ  
恵方巻普通に切って食べている

橋倉久美子  
ささきのりこ  
北田のりこ

武器として使ったことはない色気  
本屋さんでちょっと立ち読みして帰る  
バントヒット二つ有っても猛打賞

戴 けいこ  
足立千恵子  
加藤吉一

孵化はもう諦めている茹玉子  
色白でなければならぬ雪女  
天罰は必ず下る稲光り

中村 和  
藤井宏造  
三村 舞

懐かしい人にも会えるお葬式  
お世辞にはお世辞で返すのがマナー  
防戦一方不満が残る口喧嘩

藤井幸子  
小川はつこ  
秋貞敏子

すてきな歌あるのにロシアから軍歌  
妻に似た長女が実に小煩い  
坂道にとめると動く乳母車

松田わこ  
藤井宏造  
天根夢草